



令和5年度心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名	長柄町立長柄中学校	
ア 全校児童生徒数	102名	(令和5年5月1日現在)
イ 実践対象 (学年・人数など)	① 1年生 29名 ② 2年生 46名 合計75名 ③ 全校生徒 103名 ④ 協力・講師 千葉聴覚障害者センター	
ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可	① 長柄中学校の校歌を多くの人に届けたい ～私たちの校歌に手話をつけて～ 6月：2025年のデフリンピック東京開催を見据えて、聴覚障がいのある方への理解と手話についての学習会 7月～：長柄中学校校歌の手話付きDVD作成依頼 (協力：千葉聴覚障害者センター) 9月～：手話付きDVDを用いた手話練習 12月：第1回手話教室(千葉聴覚障害者センター講師及び通訳) ア) 講話「聴覚障がいのある方への理解」 イ) 手話講話及び日常会話の手話を学ぼう ウ) 手話付き校歌の練習   1月：第2回手話教室(千葉聴覚障害者センター講師及び通訳) 〔予定〕※ミニ集会を兼ねた、保護者、地域の参加型教室 ア) 講話「手話について」 イ) 手話付き校歌練習 ウ) 手話校歌発表 ② 中学校の人権教室 11月：「人権教室」開催 ③ 認知症サポーター養成講座 11月：「認知症サポーター養成講座」開催	
エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)	① 学校だよりで、家庭及び地域287家庭に配布 ② 第2回の手話教室を1000か所ミニ集会と合同開催。(町小学校・地域にも周知した。) ③ 生徒作成のミニポスターを配布(家庭・地域) ④ 学校Webページ掲載(12月11日更新)	

<p>オ 実 践 成 果 (児童生徒の変化など)</p>	<p>①昨年度のパラスポーツ「車いすバスケットボール」「ボッチャ」の経験を経て、今年度は、デフリンピック東京を見据え、聴覚障がいのある方への理解を深めようと活動してきた。聴覚障がいのある方の講話を、手話通訳を交えながら、聴くことで、聴覚障がいのある方への理解と、多様性を学ぶことができた。</p> <p>②自分たちの校歌に手話をつけてもらい、校歌を手話で伝える活動を通して、多様性や他者理解だけでなく、自分たちのことを多くの人に知ってもらうために、「発信する」「伝える」ということの大切さを学ぶことができた。</p> <p>③デフリンピック東京について興味を持つ生徒が増えたので、関連図書の購入を来年度検討している。</p>
<p>カ 次 年 度 の 予 定 (課題や改善策など)</p>	<p>①来年、本校は合併20周年を迎える節目の年に本校校歌に手話をつけることで、より多くの方に本校の校歌を聴いて欲しいと考える。新入生歓迎会等で発表の場の設定を予定している。</p> <p>②手話校歌を伝統的に継承し、手話の普及に努める。</p>
<p>キ 添 付 資 料 (広報資料・Web記事など)</p>	<p>①学校だより8号(12月15日発行) <資料1></p> <p>②1000か所ミニ集会案内文 <資料2></p> <p>③生徒作成のミニポスター <資料3></p> <p>④学校Webページ掲載(12月11日更) <資料4></p>

※A4サイズ2ページ以内に調整すること。